

- 泉佐野市では、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、将来経営が成り立つ森林に育てるため保育間伐を行っている。
- 令和4年度においては、上之郷森林整備及び危険森林整備を行った。

## □ 事業内容

### 1. 上之郷森林整備

- 森林のもつ公益的機能の高度発揮を図ることを目的とし、本数調整伐（5ha）を行った。

【事業費】3,702千円（全額譲与税）

【実績】森林整備調査業務 5ha  
森林整備業務 5ha

### 2. 危険森林整備

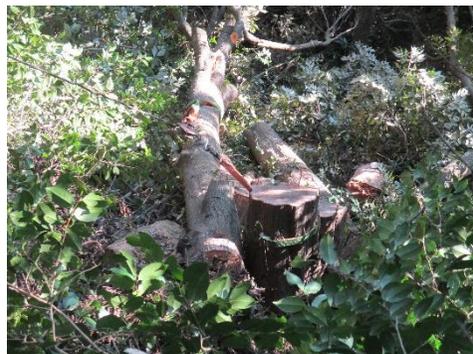
- 樹木の高齢化や枯死及び放置林の増加による倒木・倒伏被害を未然に防止することを目的とし、択伐による森林整備を行った。

【事業費】5,541千円（全額譲与税）

【実績】土丸地区危険森林伐採業務 40本  
大木地区危険森林伐採業務 3本  
ナラ枯れ被害木伐採業務 2本



（上之郷森林整備業務）



（ナラ枯れ被害木伐採業務）

## □ 取組の背景

### 1. 上之郷森林整備

過年度にて地番参考図の作成、意向調査の実施を行ってきた。その延長線として泉佐野市内の立木の健全な成長の促進を目的とし、森林整備を実施している。

### 2. 危険森林整備

落枝、倒木の可能性がある危険な場所に対し、住宅への危険を未然に防ぐため森林整備を実施している。

## □ 工夫・留意した点

上之郷森林整備及び危険森林整備において、先に毎木調査による伐採樹木の選定を実施し、森林整備を行った。

## □ 取組の効果

### 1. 上之郷森林整備

本数調整伐を実施することで、成長していない立木に健全な成長の促進が期待できる環境を整えることができた。

### 2. 危険森林整備

住宅への危険を未然に防止することができた。

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：13,203千円	②私有林人工林面積（※1）：875ha	
③林野率（※1）：35.3%	④人口（※2）：100,131人	⑤林業就業者数（※2）：4人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より